

2023年12月26日
商工中金

地域金融機関と協調し、省資源化に取り組む金谷ホテル株式会社様を ポジティブ・インパクト・ファイナンスにてサポート

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（宇都宮支店）は、金谷ホテル株式会社様（本社：栃木県日光市、代表者：丸山 真人様）に対し、足利銀行と協調して、ホテルの改修に必要な資金4億円を融資しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、日光金谷ホテルと中禅寺金谷ホテルの運営を手掛けています。日光金谷ホテルは創業150周年を迎えた現存する日本最古のリゾートホテルとして、長きにわたり宿泊客の支持を集めてきました。

今回同社は、フードロスの削減や設備更新によるCO2排出量の削減等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関するKPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社KPI詳細は、商工中金HP掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営層との対話を通じた事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【金谷ホテル株式会社様の概要】

| | |
|------|------------------|
| 所在地 | 栃木県日光市上鉢石町1300 |
| 代表者 | 丸山 真人 様 |
| 業種 | 宿泊業 |
| 資本金 | 5,000万円 |
| 従業員数 | 151名（2023年11月時点） |
| 創業 | 1873年6月 |



【日光金谷ホテル】

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



(※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして(株)日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

